

令和4年3月14日

和光市教育委員会
教育長 大久保昭男 様



和光市社会教育委員会
議長 久米 隼

答 申 書

令和3年7月28日に、和光市教育委員会教育長より「和光市における学校・家庭・地域の連携・協働を支える社会教育の役割について」の諮問を受け、和光市社会教育委員会会議は、国の社会教育施策や各種答申の動向、和光市における社会教育の現状や課題の分析、ヒアリング等などの調査研究に取り組んできました。

答申のとりまとめにあたっては、「学びを通してよりよい社会を形成する」という社会教育の本来的な役割に立ち返り、和光市における社会教育の役割を

- (1) 和光市の社会全体をフィールドとした社会教育
- (2) つながっていく社会教育
- (3) 家庭教育を支える社会教育
- (4) 「攻め」の社会教育

の4点にまとめ、この役割を具体的に実現させていく際の3つのポイントを

- ① 持続可能な組織、継続的な仕組みづくり
- ② 多様な主体との情報の共有と連携・協働
- ③ 学びと活動の好循環を生み出す

と設定し、「和光市教育振興基本計画」の基本理念である「生涯にわたる自発的な学びと健やかな人生の実現を支援する教育」の実現に向け、別添のとおり、答申します。

提言については、年度当初の事業計画等に反映させ、マネジメントサイクルにより具体的な取組の改善・充実につなげることが重要であり、社会教育委員会会議にて、適宜、審議してまいりたいと考えております。

本答申の内容が、和光市の社会教育の充実に資することを切に希望します。